

第二次山陽小野田市総合計画 アンケート結果について

■調査概要

一般市民調査	対象	令和7年（2025年）3月1日現在、本市に住民票のある18歳以上の市民
	調査数	3,000人（無作為抽出）
	調査方法	郵送による配付・回収及びWEB回答
	回収数	983件（回収率32.7%）うちWeb回答307件（Web回答率31.2%）
	調査期間	令和7年（2025年）3月21日～4月21日

■属性

（１） 年齢区分

年齢別	件数
10代	16
20代	52
30代	91
40代	125
50代	148
60代	190
70代以上	328
無回答	33
合計	983

（２） 校区区分

校区別	件数
本山	33
赤崎	60
須恵	101
小野田	149
高泊	74
高千帆	161
有帆	54
厚狭	169
厚陽	18
出合	34
埴生	62
津布田	16
無回答	52
合計	983

※各対象項目の「無回答」は集計対象外とします。

■アンケート結果について

施策番号	基本施策	目標指数	単位	現状値 (令和3年度)	アンケート結果	中期目標値 (令和7年度)
1	子育て支援の充実	市内で子育てしたいと思う親の割合	点	62.5	58.9	64.5
2	高齢者福祉の充実	老後が不安なく暮らせると感じている人の割合	点	45.0	41.3	49.0
3	障がい者福祉の充実	暮らしの中で、障がいのある方と健常者が一緒に活動することが増えたと感じている人の割合	点	46.6	45.1	48.3
4	地域福祉の推進	暮らしの中で、相談できる人や場所があると感じている市民の割合	点	52.9	51.8	60.0
7	地域医療体制の充実	地域の医療に安心感を持っている人の割合	点	56.8	52.0	60.0
9	防災体制の充実	防災情報の入手方法が2つ以上の人の割合	%	79.0	76.9	100
10	防犯・交通安全・空き家等・消費者保護対策の推進	安全で安心して暮らすことができると感じている人の割合	点	64.5	62.5	65.0
11	地域づくりの推進	地域活動や地域イベントに参加している市民の割合	%	64.5	63.0	65.0
12	人権尊重のまちづくり	一人一人の権利が守られていると感じている市民の割合	点	59.1	58.4	60.0
13	自然環境の保全・循環型社会の形成	節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしている市民の割合	点	59.2	60.3	61.3
15	シティセールス・移住定住の推進	本市に住み続けたいと思う市民の割合	%	77.0	72.7	80.0
17	公園・緑地の整備・保全	「公園施設が充実している」と回答した市民の割合	点	51.3	51.4	60.0
30	芸術文化によるまちづくりの推進	芸術文化の創作活動、行事への参加、鑑賞機会がある人の割合	点	46.7	46.2	55.0
		市の歴史や文化に愛着を感じる人の割合	点	54.1	52.1	60.0
32	効率的で効果的な行政運営	行政手続が便利になったと思う人の割合	点	54.0	56.6	59.8
34	市政への市民参画の推進	必要な行政情報が十分に得られていると思う人の割合	点	52.1	47.2	55.0
		市民の声が市政に届いている反映されていると感じる人の割合	点	38.7	34.2	50.0

■評点の算出について（単位が「点」のもの）

回答を次のように点数換算し、合計点数を対象人数で割った値

大いに思う：100 思う：75 どちらともいえない：50

思わない：25 全く思わない：0 わからない：対象外

■評点の考え方について

評点	評価	市民の状態
65点以上	非常に高い	市民の大部分が満足している。
55点以上 65点未満	高い	市民が満足している。
45点以上 55点未満	中	満足している市民と、不満に思っている市民がほぼ同数いる。
35点以上 45点未満	低い	市民が不満に思っている。
35点未満	非常に低い	市民の大部分が不満に思っている。